

会 議 録		令和6年9月18日作成	令和10年3月末日廃棄
会議名	京都府下京警察署協議会（令和6年度第2回）		
開催日	令和6年9月10日（火曜日）		
時 間	午後1時20分から午後2時50分までの間（90分）		
場 所	京都府下京警察署 講堂		
出席者	冨江会長、山田（由）委員、和田（円）委員、宮田委員、大下委員、鈴木委員、 内藤委員、和田（雅）委員、山田（守）委員 （欠席 井上委員、川西委員） <span style="float: right;">計9人</span>		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、 交通課長、警備課長、広聴相談係長 <span style="float: right;">計10人</span>		
諮 問 事 項	1 犯罪被害者支援について 2 若手地域警察官の育成について		
会 議 内 容	1 署長挨拶 <span style="float: right;">司会 副署長</span> 2 会長挨拶 3 協議 <span style="float: right;">司会 副会長</span> (1) 諮問事項説明 犯罪被害者支援について～警務課長 <b>【委員】</b> 私は、過去に滋賀県のおうみ犯罪被害者支援センターで講習を受けたこと もあり、人の話を聞くということは、適切な質問をしないと重要な情報が得 られないという難しいものだと感じている。また、それは大変なことだと思 うが、とても大切なことだと思っている。 <b>【委員】</b> 下京警察署には犯罪被害者の講演を依頼し、年に一度は生徒たちに聞かせ る機会を持たせている。私は生活指導で生徒達を叱る立場にあり、カウンセ リング部との連携によって再犯が防げることもよく理解しており、連携を図 っていきたいと考えている。今後もよろしくお願ひしたい。 <b>【委員】</b> お寺に勤務しているため、お話を聞くことが多い。被災地に行って被災者 支援も行ってきたが、被災者への傾聴がいかに大事か、いかに寄り添って いくことが大切であるか、言葉では簡単であるが実際には難しく、そういった 現場を目の当たりにしている。簡単にできることではなく引き続き大切な取 組として続けていただきたいと感じた。 <b>【委員】</b> 警察が被害者支援というものを積極的にされているとは知らなかった。報		

道の仕方にもよると思うが、テレビ等でストーカー事件があり、警察に相談に行ったがなかなか対応されないまま、被害に遭ってしまったという話を聞いたことがあった。しかし、実際に被害者支援という活動をされていると聞き、その重要性はますます増えていくのだろうという気がしている。これからも頑張っていたきたい。

【委員】警察としての犯罪被害者への支援は素晴らしいと思う一方で、損害賠償となった場合に相手側から支払われないこともある。公的なことで担保出来るような法整備も必要だと思った。

【警察】犯罪を行った者が財産的にも経済的にも賠償できないという事例や、判決で勝訴しても実際には賠償されないという実情に鑑み、その解決に向けた議論が必要だと言われていることを参考にお知らせする。

【委員】子供同士がケンカしたという話を聞いただけでも同年代の子供を持つ親としてメンタル的にやられる。保護者のメンタル面の対応はあるのか。

【警察】犯罪被害者等とあるように、対象者は御家族や御遺族も含まれており、そういう方も相談窓口での対応できるので申し出ていただければよい。

## (2) 諮問事項説明

若手地域警察官の育成について～地域課長

【委員】高校3年生の娘がおり、警察官を希望していたが管理栄養士への道を選んだ。自宅近くの交番におられた女性警察官が誰にでも優しく話してくれ、おばあちゃんにも声を掛けてくれる方で、娘は、自分も強くて明るくて子供やお年寄りにも人気のある警察官になりたいという目標も持っていたが、親としては相手が刃物を持っているかも知れないし、自分より大きな男性で危険と分かっているにもかかわらず行かなければならないことなど心配が多かった。警察官の育成として、知力、体力、警察魂という話があり、大変な訓練をされていることが分かった。

【委員】見守り活動をしているが、若い警察官が来てくれて安心だ。先日は警察官がいないときに自転車同士の事故があり、不安に思った。

【警察】警察官が街頭に立つ姿、制服の威力というのを我々は承知している。

犯罪や違反の抑止にも効果があるため、可能な限り、街頭に立つようにしており、連絡していただければ対応する。

【委員】息子の先輩が警察官になったが辞めたようで、警察官としての自覚が出来るまでに時間がかかったり、ギャップが埋めきれない人もあると思う。

【委員】大変な訓練や教養をしていることを認識した。今後、警察官をリスペクトしたいと思った。

【委員】お寺の保安職員40名のうち、約半数は警察官のOBに来てもらっており、大変心強い。保安職員は制服を着ているが、制服ということで人の見る目が変わってくることを私自身も感じている。先ほど話があったように制服を着て警察官という意識を持って勤務されているということであり、引き続きよろしくお願ひしたい。

【委員】学園祭や文化祭のため一般開放していた際、当校とは無関係の方と若手男

会 議  
内 容

性教員とのもめごとがあった。女子生徒は、嫌なことを言われたことが原因で泣いてしまい、偶然近くに保護者の方もおられたことから、別室で対応したが、1～2時間経っても収拾がつかないため、警察に来てもらおうとしたところ、謝罪して帰られたということがあった。日々の安心はそういうことでも成り立っていると思う。なるべく警察の方にお世話にならないようにしようと考えているがよろしくお願ひしたい。

【警察】危険な状況にあるときには遠慮なく110番通報していただきたい。

【委員】地域包括支援センターで仕事をしており、一人暮らしのお年寄りの見守り活動を行っている。コロナが流行する前は、消防署の方や警察官と一緒に巡回してくださって薄暗いマンションなどの怖いところも心強かった。

コロナも段々と落ち着いてきたので、機会があれば同行をお願いできるか。

【警察】地域や住民の安全・安心に関する活動のうち、警察の責務に係ることについては、地域警察活動として行っている「府民協働防犯ステーション活動」の一環として参画・協力できると考えるので、相談願ひたい。

【委員】豊園学区夜間ちようちんパトロールの御紹介をいただいた。この取組も今年で12年になるが、京都府警察本部からの交番を核とした協働ステーションを広げていきたいという意向を受けて、豊園学区もすぐに手を挙げて参加しており、地域のいろいろな団体と一緒に月1回パトロールを行っている。

夏休みであれば、子供さんとお母さん、おばあさんとお孫さんが一緒に参加してくださり、その時に同行してくれる交番勤務員の方と色々お話される場面もある。警察官の方を身近に感じられる環境というのは青少年の健全育成にとって大事なことだと感じている。

地域で行う子供のイベントの際、警察署の方や消防署の方にもお願ひして来ていただき、格好良いお巡りさんや消防士の姿を見せてもらい、よい子供が育つ環境づくりをしたいと考えている。

今後も下京警察署の方に御協力をお願ひすることが多々あると思うが、よろしくお願ひしたい。

【警察】取組に対する感想を伺い、御理解いただいたものと考えている。

御要望にはできるだけ対応させていただくとともに、今後も警察活動の説明や発信に努めていく。

4 事務連絡

令和6年度第3回京都府下京警察署協議会は、12月上旬に実施予定である。

以上

## 第2回京都府下京警察署協議会の開催状況

